

林道事業再評価調書

事業名	林道開設事業（森林基幹道）	路線名	よこいしたにやません 横石谷山線																		
事業主体	徳島県	関係市町村	那賀町(旧相生町、旧上那賀町)																		
事業 業	【目的】 本路線は、那賀町(旧相生町、旧上那賀町)と、美波町(旧日和佐町)の境界稜線を中心とした広大な人工林地帯の森林整備の基盤として整備するもので、この林道の開設により森林の適正な管理や保全、効率的な森林施業を推進するとともに、中山間地域の雇用の創出のため必要不可欠な路線である。 また、当路線は国道195号と県道日和佐・上那賀線を連絡する計画としており、災害時には谷山地区の孤立化を防ぐ迂回路としての役割も期待されている、地域にとって欠くことのできない非常に重要な路線である。																				
	概 要	【内容】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">利用区域面積</td> <td style="width: 20%;">1,197ha</td> <td style="width: 50%;">[人工林面積:1,093ha (91%)]</td> </tr> <tr> <td>受益戸数(森林所有者数)</td> <td>163戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅員</td> <td>4.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計画延長</td> <td>18,100m</td> <td>(うち令和5年度末の供用予定延長 14,058m)</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td>5,200,000千円</td> <td>(うち令和5年度末の実施予定事業費 3,829,543千円)</td> </tr> <tr> <td>事業予定期間</td> <td>平成5年度～</td> <td>令和15年度 (41年間)</td> </tr> </table>			利用区域面積	1,197ha	[人工林面積:1,093ha (91%)]	受益戸数(森林所有者数)	163戸		幅員	4.0m		計画延長	18,100m	(うち令和5年度末の供用予定延長 14,058m)	総事業費	5,200,000千円	(うち令和5年度末の実施予定事業費 3,829,543千円)	事業予定期間	平成5年度～
利用区域面積	1,197ha	[人工林面積:1,093ha (91%)]																			
受益戸数(森林所有者数)	163戸																				
幅員	4.0m																				
計画延長	18,100m	(うち令和5年度末の供用予定延長 14,058m)																			
総事業費	5,200,000千円	(うち令和5年度末の実施予定事業費 3,829,543千円)																			
事業予定期間	平成5年度～	令和15年度 (41年間)																			
評 価 項 目	【事業の進捗状況】 工事は起点側横石工区と終点側谷山工区の両方向から進めていたところ、令和2年度より新たに磯原工区を中間地点から開設し3工区体制で進めている。令和5年度末現在、横石工区9, 351m、谷山工区4, 275m、磯原工区422mで開設・供用を予定しており、進捗率は78%となっている。 <div style="text-align: right;">[進捗率:78%]</div>																				
	【関連事業の整備状況】 当該路線では、木材生産を目的とした森林作業道が開設され、森林整備が盛んに行われている。 平成12年度には、当林道起点に大規模国産材出荷販売施設が完成し、当林道から生産された多くの県産材が当該施設に出荷されている。																				
	【社会経済情勢の変化】 本県は県土の4分の3を森林が占め人工林率も約60%と高い。森林資源量はこの40年間で約3倍にまで増加し、その大部分が利用可能な状態まで成長している。県では、利用期を迎えた豊富な森林資源を活用するとともに、カーボンニュートラルにも資する森林循環(伐って、使って、植える)を進めることにより、森林・林業を「核」とした「地方創生」の実現を目指している。 木材を安定的に生産・供給し、林業・木材産業の成長産業化を図るには、搬出コストの低減が必須であり、高性能林業機械の導入や効率的な木材輸送のための、林道を「核」とした路網整備が強く求められている。																				
	【計画上重要な部分の変更の必要性の有無】 無し																				
【事業効果の発現状況】 供用開始した区域を利用して、令和4年度までに間伐をはじめとする森林整備が、延べ3, 147ha実施されている。今後も、供用区間の増加に伴い森林整備が計画されている。 <div style="text-align: center;">[費用対効果] 1.80 (国の採択基準は1.0以上)</div>																					
【受益者・関係機関の意向】 高性能林業機械の導入による木材搬出経費の削減を図り、適切な森林管理を行う上で、基盤となる当林道の早期整備が強く望まれている。 また、地域の主要道である国道195号と県道日和佐・上那賀線を連絡し、地域の交通ネットワーク形成に果たす役割も期待されていることから、関係町、森林所有者等は早期完成を望んでいる。																					
【事業の実施方針】 継続して事業を実施する。																					